

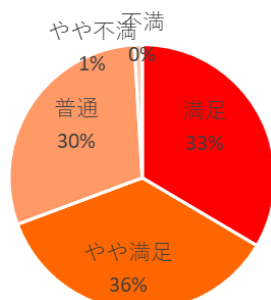
## 2021年度 卒業時アンケート調査の分析結果

アンケート実施期間： 2022年1月19日～2022年3月31日

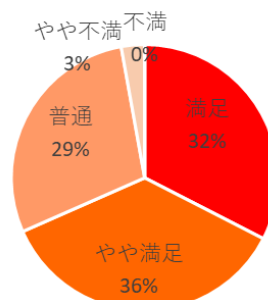
卒業生数： 237名 回答者数： 212名 回収率： 89.5%

### 満足度調査

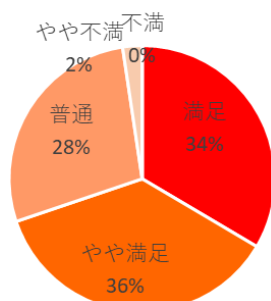
Q1: 一般的に学科の担当教員の授業への熱意は十分なものでしたか。



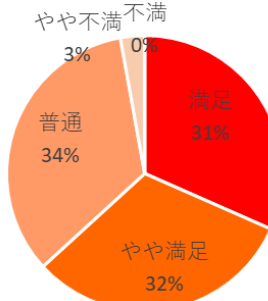
Q2: 一般的に学科の授業の内容は十分なものでしたか。



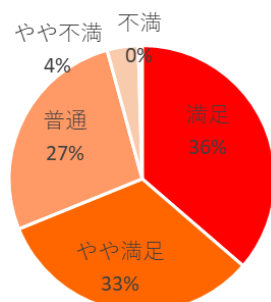
Q3: 一般的に授業を受けて知識や技能の向上は十分でしたか。



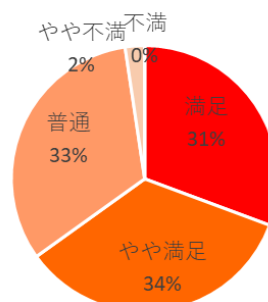
Q4: 講義要項（シラバス）は科目の選択や授業内容、進度を知る上で十分なものでしたか。



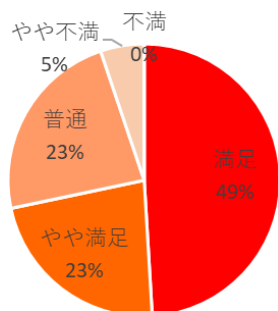
Q5: 授業や実習に関する悩み、相談で教員の対応は十分なものでしたか。



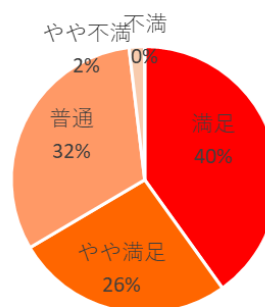
Q6: 成績の評価は十分納得のいくものでしたか。



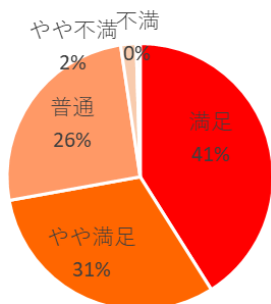
Q7: 履修登録や証明書の発行、各種手続きの際の職員の対応は十分なものでしたか。



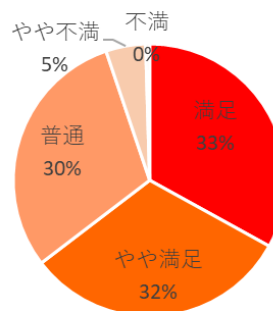
Q8: 実習やインターンシップに関する相談で職員の対応は十分なものでしたか。



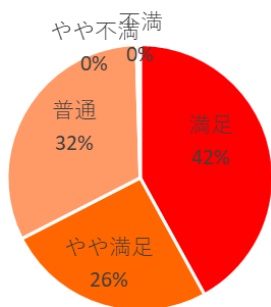
Q9: 就職の相談や編入の相談などで職員の対応は十分なものでしたか。



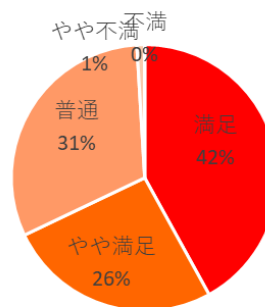
Q10: 教室の環境（椅子、机、空調、Audio Visual機器など）は十分なものでしたか。



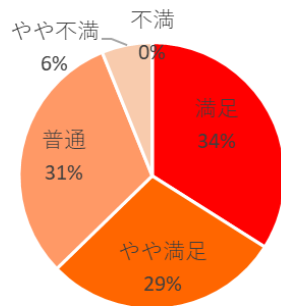
Q11: 図書館の蔵書、資料、設備など総合的にみて十分なものでしたか。



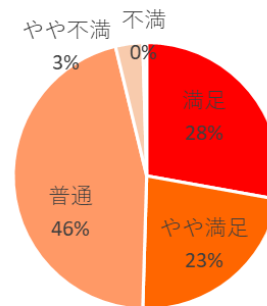
Q12: 実習室、パソコン教室、体育館の設備などは十分なものでしたか。



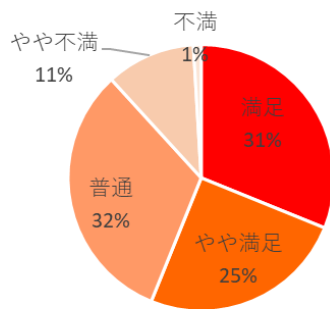
Q13: 休憩時間を過ごすスペースはあなたにとって十分なものでしたか。



Q14: 保健室等の設備状況はあなたにとって十分なものでしたか。



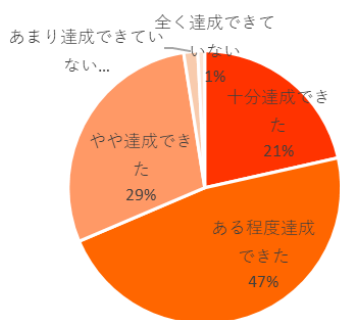
Q15: 売店、学生食堂の設備やメニューなど総合的にみて十分なものでしたか。



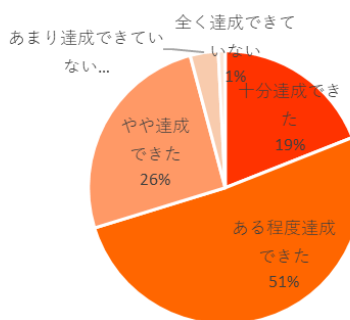
成長実感調査

幼児教育学科

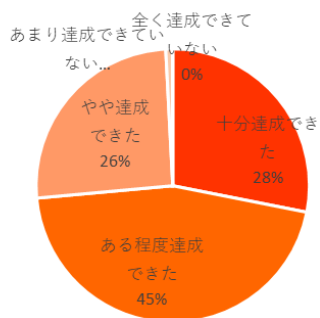
Q1: 礼節を重んじ、勤勉で、社会人としての良識ある言動ができる。



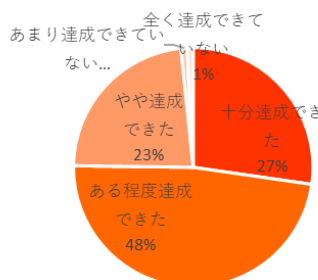
Q2: 幼児教育学・保育学の知識と技能をしっかりと習得している。



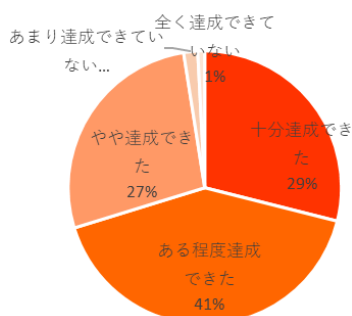
Q3: 周囲の人と協調することができ、コミュニケーション能力を身につけている。



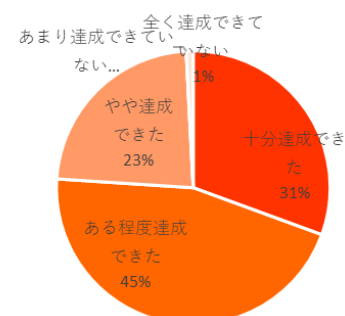
Q4: 自分で積極的に課題を見つけて考えることができ、子どもと育ち合う姿勢をもっている。



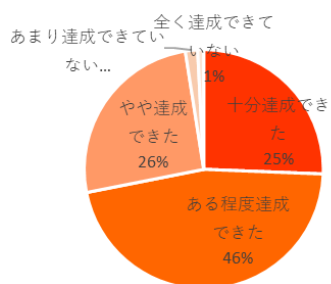
Q5: 子どもを取り巻く環境や社会問題の理解を通して、多様なものの見方ができる。



Q6: 自然と生命を大切にすることを子どもに伝えることができる。

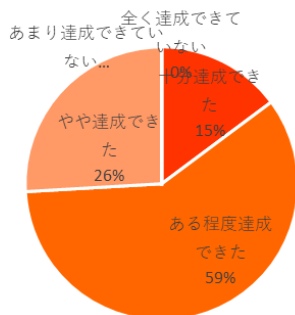


Q7: 自分を生き生きと表現することができる  
と共に、他者の表現を受け入れることができ  
る。

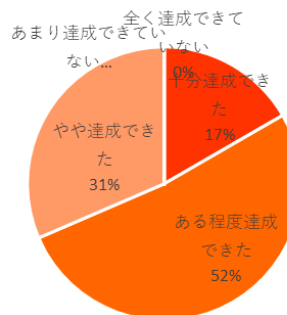


地域保育学科

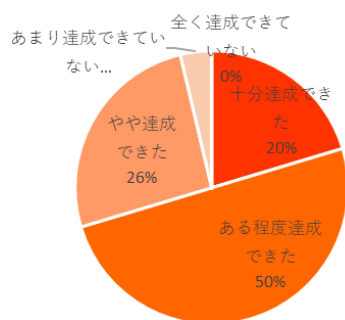
Q1: 保育者として必要な教養や専門的知識を  
身につけている。



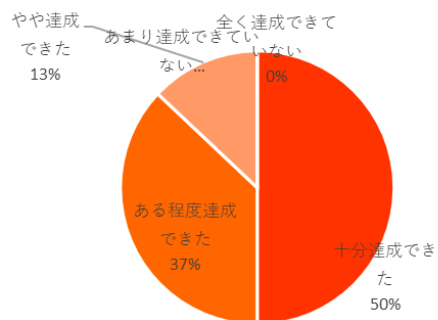
Q2: 主体的に学ぶ力を身につけ、保育の向  
上、自己の資質向上に取り組める。



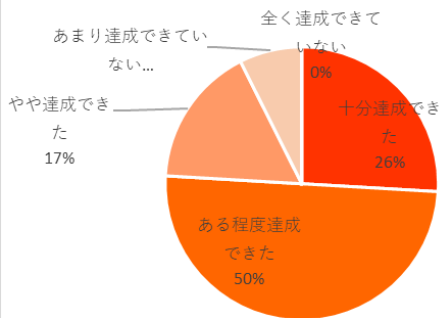
Q3: 仕事やそれ以外の活動を通し社会貢献で  
きる力を有している。



Q4: 子どもの人権を守り、子どもの最善の利  
益を優先できる。

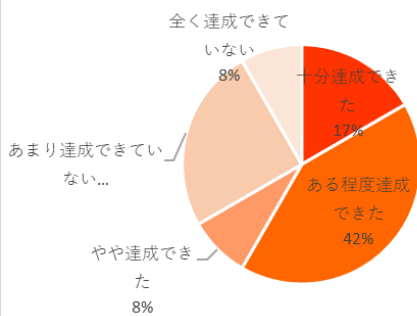


Q5: 多様な問題に直面したとき、それを乗り越える精神的強さを有している。

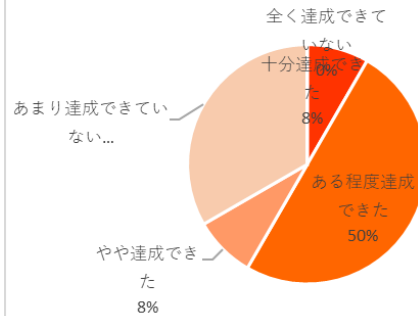


### 文化表現学科

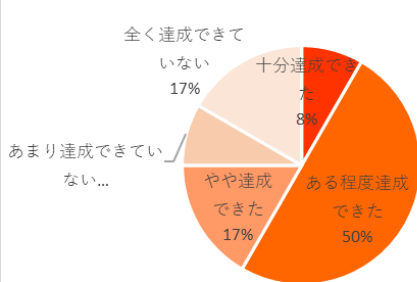
Q1: 日本の伝統及び現代文化に加え、異文化に対する理解を深め、多様で寛容な思考や表現ができる。



Q2: 他者の主張や考えに耳を傾け、その内容を理解したうえで自分の思いや考えを表現することができる。



Q3: 社会の新しい動きに関心を寄せ、絶えず向上心をもって新たな知識や技能を習得し、適切な判断のもとに物事を実践できる。



Q4: 礼節、勤勉、協調の精神を持ち、主体的に多様な人々と協働して社会に貢献できる。

